

「ひなまつり」

日本文化あれこれ

女の子の健やかな成長を願うひなまつり。そもそもなぜ3月3日に行うの？なぜひな人形を飾るの？そんな素朴な疑問を紐解きます。

Q 3月3日の意味

ひなまつりは五節句のひとつ、「上巳の節句」です。1月7日「人日の節句」、3月3日「上巳の節句」、5月5日「端午の節句」、7月7日「七夕の節句」、9月9日「重陽の節句」があり、節句は季節の節目に神様へお供え物をして厄を払い、五穀豊穡、無病息災を祈る行事のことをいいます。

Q ひな人形を飾る理由

日本では古来より「形代（かたしろ）」と呼ばれる、紙やわらなどのできた人形を川や海に流すことで厄払いを行ってきたが、ここから人の身代わりとして厄から守ってくれる男女一対の紙の人形が生まれ、平安時代の貴族たちの間で飾られるようになりまし。これがひな

人形の原型です。

Q 桃の花を飾るのは？

ひなまつりは桃の節句という別名もあります。その理由は諸説あります。①旧暦の3月3日（現在の4月）が桃の花の咲く時期だった。②桃は魔除けや長寿の木と考えられていた。③桃の木は一本にたくさんの実をつけるので「子宝の木」とされていた。④桃の花は色や形が可愛らしく、女の子のイメージにつながるから。

Q ひな人形はどのくらいの期間飾る？

ひな人形には女の子の厄災を身代わりに引き受けてもらう意味があるため、当日だけではなく節分の豆まきの後や2月中旬頃から飾り、また3月3日を過ぎた後は早く片付けるのが望ましいそうです。また、ひな人形の婚礼の様子を結婚の象徴と考え、早く片付けることで早く嫁に行けるとか、片付ける様として行われているとも言われています。



今年も盛大に開催

しのろ紙袋ランターンまつり

2月9日(日)、JR 篠路駅周辺で5回目となる紙袋ランターンまつりが開かれました。この日はマイナス15℃という大変な寒さの中、午後2時からポランテア100人以上が会場設置のために雪山を削り、紙袋を設置するところから作業を開始。この紙袋ランターンは地元住民や篠路中学校生徒などが制作したもので、篠路駅東口から駅前通りにかけて1600個、西口のロータリー付近にも300個設置されました。

夕暮れ時の夕方5時になると、吉田愛美実行委員長や篠路駅駅長らによる点灯式が行われ、続いてこの日のために制作された「篠路ランターンまつり音頭」にあわせて参加者たちが輪になって踊る微笑ましい一幕も。自分の作ったランターンを見に来た人や駅の利用客など、約300人が厳寒の美しい風景を眺めていました。

我が家のペット

我が家のペットを掲載したい方は編集部まで。ペットの種類は問いません。皆さんのペット自慢、どしどしお待ちしております！

▲滝花 風(ふう)ちゃん(ミニチュアシュナウザー♀3才) 生後5カ月の孫とペットの初対面の瞬間。孫も怖がらず風と接していました♪



▲美しくきらめくランターンの灯り



▲注目の中での点灯式

なないろむせん
タクシーのご用命は **771-6000**
011-771-2631

アカツキ・タクシー無線センター

車いす介助ケア快適輸送♪
観光ハイヤー 商用貸切

「地域見守り隊」
あんぜん・あんしんパトロール運動に参加しています。

アカツキ交通株式会社
札幌市北区百合が原4丁目10番8号

乗務員募集中!
771-2632



▲駅前で行われていた健康づくり講演会

健康づくり講演会

健康寿命を延ばそう!

北海道新聞水曜朝刊コラム「生きる」しくみの執筆者で、HBCテレビ「今日ドキッ!」のコメントーターとしてもお馴染みの札幌医科大学教授、富瀬規嗣先生が、健康に長生きするための秘訣をお話しします。入場無料!ふるってご参加ください。

▼日時: 3月24日(水)午後2時~3時40分
▼会場: 太平百合が原地区センター(体育室) 太平12-2
▼内容: メタボリック症候群と健康寿命の関係、高齢者の食事法、運動習慣など
▼お問合せ・申し込み: 771-9180 (太平百合が原まちづくりセンター) ちづくりセンター

※この事業は北区北部3地区のまちづくりセンター(篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里)の連携で実施するものです。

篠路歌舞伎

歴史散歩

花岡義信が建設を考えた回り舞台付きの劇場とは、歌舞伎で一般的に使われるもので、舞台中央の床を大きく円形に切り抜き、その部分を回転させて場面転換する装置のこと。その回り舞台を回すには、舞台下に5~6人が入り、中腰でグルグルと大きく回転しなければなりません。花岡は団員たちに言いました。「腰は痛いし、汗だらけに、腰は痛いし、汗だらけに」。それでもは烈々布神社の境内に臨時の舞台を設置していただけの一座でしたが、これを機に芝居のための常設劇場を建設。役者の他、警備係、楽屋係、大道具・小道具係、記帳係など、大勢の裏方たちと一致団結し、

なつて裏方は大変な負担になるが、それでも結成して25年、北海道のどこにもない本格的な歌舞伎を作っていく時期だと思っんだ。

それまでは烈々布神社の境内に臨時の舞台を設置していただけの一座でしたが、これを機に芝居のための常設劇場を建設。役者の他、警備係、楽屋係、大道具・小道具係、記帳係など、大勢の裏方たちと一致団結し、

最盛期には1500人もの動員を記録しました。こうして北海道唯一の一流歌舞伎舞台が、篠路村に誕生することになったのです。

▲歌舞伎の回り舞台

ふれあいわが街では、広告を載せたい企業、店舗を募集中です。紙面でお店のPRをしてみませんか？料金、広告内容などのお問い合わせはこちらまで。

(株)道新中西販売所
北区篠路3条7丁目3-19
771-2229

大募集!

販売店からのお知らせ
★3月の新聞休刊日は16日(月)です

情報センター
ふれあいわが街編集部 佐々木
TEL/FAX: 2299-3794
E-mail: 5821@od.dion.ne.jp

消防署からのお知らせ

雪解け時期の落雪に注意

気温が高くなると雪解けが始まり、屋根からの落雪危険が増大します。今にも雪が落下しそうな軒先での作業や、その直下を通行する等の行為は避けましょう。また、落雪によりストーブやボイラーの排気筒が雪に埋もれてしまう場合があります。その状況が続くと、排気ガスが屋外へ排出されず、とても危険です。日ごろから排気筒周辺を小まめに除雪するよう心がけましょう。

今年も消火栓除雪にご協力いただき、ありがとうございました。今後とも消防行政へのご理解とご協力をお願い致します。

相談・お問い合わせ先 **北消防署警防課篠路出張所** 北区篠路2条4丁目7-20 **771-2510**